

児童福祉論 I

担当教員 金和 史岐子

配当年次 2年

単位区分 選択

準備事項

備考

開講時期 第1学期

授業形態 講義

単位数 2

【授業のねらい】

- 1 児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会情勢、福祉需要を理解できる。
- 2 児童・家庭福祉制度の発展過程を理解できる。
- 3 児童の権利について理解できる。
- 4 相談援助において必要となる児童・家庭福祉制度や児童・家庭福祉に係る他の法制度について理解できる。

【授業の展開計画】

[授業全体の内容の概要]

児童・家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度を児童の権利から理解できる。

[授業終了時の達成課題]

社会情勢を学び、社会福祉士に必要な児童・家庭福祉制度の最近の動向を理解できる。

週	授 業 の 内 容
1	児童や家庭に対する支援と家庭福祉制度の概要・課題
2	子ども家庭福祉の理念・定義
3	子どもと家庭の権利保障
4	子ども家庭福祉の発展
5	現代社会と子ども・家庭
6	子ども家庭福祉にかかわる法制度
7	児童相談所の役割と実際
8	子どもの貧困
9	母子保健
10	障害・難病のある子どもと家族への支援
11	児童健全育成・保育
12	社会的養護
13	非行・情緒障害
14	児童虐待
15	児童・家庭に対する相談援助活動

【履修上の注意事項】

社会福祉士国家試験受験資格取得者希望者は、必ず履修する。授業前にテキストを読むこと。授業後にポイントをおさえて復習しておくこと。

【評価方法】

試験（もしくはレポート）70点、授業内レポート30点で評価する。

【テキスト】

福祉士講座編『児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度』，新社会福祉養成士講座、中央法規。

【参考文献】

随時、授業時紹介する。